

地域と連携した産業観光

調査研究テーマ「観光と交流の推進について」



富山県西部観光社 水と匠の視察の様子

所感

どちらの一般社団法人も産業観光を軸にしており、地域と人をどのようにして結び付けているのかという点と、何か新しく観光資源をつくるのではなく既存にある地域資源をどのように観光資源として磨き上げるかという点が重要だと感じた。また、やはり熱量のある地域と人と観光を結びつける事ができるキーパーソンとなる人材が必要だと実感した。

総務産業 常任委員会

当委員会では本年「観光と交流の推進」を所管事務調査として取り組んでおり、産業観光の面で地域と協力して観光振興を行っている一般社団法人 S^ソO^エE（福井県鯖江市）と一般社団法人富山県西部観光社水と匠（富山県砺波市）の2社の行政視察を行いました。

（視察日：令和6年5月22日・23日）

議会活性 特別委員会

能美市議会において政策提言の実現を図るため、「政策提言・政策立案についてガイドラインを作成し、プロセスの確立を図ること」と「政策形成サイクルの確立を図ること」の2つを目的に、先進的な取り組みをしている一関市議会、奥州市議会の行政視察を行いました。

（視察日：令和6年5月9日・10日）

政策提言の実現に向けて

視察先・テーマ 岩手県一関市：政策提言について
岩手県奥州市：政策サイクルについて



一関市議会の視察の様子

所感

両市議会とも常任委員会を実施主体とした政策提言の手法を採られているという点が参考となった。一関市議会では、提言した政策が実施されていない場合のフォローアップとして、常任委員会単位での代表質問の制度を導入しており、奥州市議会では、「政策決議提案」という独自の手法で、より実効性を高めた政策提言を行っていた。これらの取り組みを参考に、能美市議会の実情に合った手法を検討していきたい。